

藤枝市中心市街地活性化協議会 会議録

会議名	平成29年度第1回藤枝市中心市街地活性化協議会
日時	平成29年4月25日(火) 13:30~15:00
場所	藤枝商工会議所 4Fホール
出席者	<p>会長 山田壽久</p> <p>委員 大塚博巳、栗田隆生、八木重樹、内記秀夫、杉浦 衛、 寺島雅之、秋原恭大、北島多喜子、仲田和好、青地春雄、栃本英雄、 鈴木健夫、高井賢一、鈴木秀人(代理)、柳川利明、青島勝昭、 堀池宗立(代理)、梅島純夫、小林浩樹、田口敏行、井田久義、 委任状出席 松浦正秋、江崎晴城、島村武慶、本多和彦、佐野芳正、渡邊芳隆、秋田弘武</p> <p>オブザーバー 藤枝警察署 石川武男 静岡県経済産業部商工業局地域産業課 神谷智美</p> <p>藤枝市中心市街地活性化推進課 課長 増田政巳 係長 岡村敏明 係長 石橋徹也 山村浩二</p> <p>藤枝市商業観光課 係長 青嶋和徳 (株)まちづくり藤枝 水江志麻</p> <p>藤枝商工会議所 事務局長 加藤久芳 課長 徳浪和浩 八木明日香</p>
内容	<p>議題</p> <p>(1) 第2期藤枝市中心市街地活性化基本計画の中間フォローアップ報告の提出について 報告事項</p> <p>(1) 次期計画策定に向けた方針について 情報交換</p>
会議の経過	<p>加藤局長の司会により開会</p> <p>始めに、加藤局長より、委員の任期中に変更が生じた場合には、協議会規約に基づき、当該構成員の後任者が引き継ぎ、その任期は残任期間となることから、前委員長の小林正敏氏に代わり昨年度に藤枝商工会議所会頭に就任した山田壽久氏が委員長を務め引き継ぐ旨の説明を行った。</p> <p>続いて、山田会長より挨拶があり、所属団体の役員改選等により、新たに委員になられた方の紹介を行った。</p> <p>§新たに委員になられた方 藤枝商工会議所会頭、株式会社 まちづくり藤枝代表取締役社長 山田壽久 藤枝商工会議所副会頭 大塚博巳</p>

藤枝市商業観光局局长 内記秀夫
喜多町商店街 青地春雄
有限会社 新日邦 ホテルオーレ事業部長 高井賢一
青島第6自治会長 柳川利明
しずてつジャストライン株式会社 山田 光
焼津信用金庫常務理事 梅島純夫
藤枝市観光協会事務局長 小林浩樹
藤枝商工会議所副会頭、藤枝市観光協会会長 江崎晴城
藤枝商工会議所商業振興委員長 島村武慶

◆議 題

(1) 第2期藤枝市中心市街地活性化基本計画の中間フォローアップ報告の提出について

山田会長より、「中心市街地活性化協議会は、中間フォローアップ説明を受け、委員の承認を得た上で、市は内閣府にその報告をする」と本会議の意義を説明した後、藤枝市役所中心市街地活性化推進課山村氏、岡村係長が第2期中心市街地活性化基本計画の概要やフォローアップについて資料に基づき説明を行った。

◇「第2期中心市街地活性化基本計画」の中間フォローアップ

第2期中心市街地活性化基本計画は平成29年度末で終了する。81の事業のうち完了・着手済が78、未着手が3事業。「来る人住む人充実満足 営み溢れ持続可能な“生活・交流都心”」をテーマに3つの目標、指標があり、基本的には順調に推移。平成28年度は3つの指標ともに前年度比で増加し、過去最高値を記録した。3つの指標のうち、従業者数と居住人口についてはそれぞれ平成27年度と平成25年度に既に目標値を超えている。

歩行者通行量についてはホテルオーレのグランドオープンの影響などから駅南地区を中心に増加。従業者数の増加については、ホテルオーレの全テナントオープンやノジマ等の大型店舗の出店が影響している。居住人口の増加については、青木地区の分譲マンション入居の影響が大きい。

内閣府へは「認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告」を毎年度更新し提出している。平成28年度終了時点の中心市街地の概況としては、①ホテルオーレの開業により、歩行者通行量や従業者数の増加等、多岐にわたる効果が表れている②駅前一丁目8街区の再開発事業について2期計画を策定した時点での見通しに対して若干の遅れが出ているという点を記載。再開発の効果が表れるのは主に平成30年度以降で、第2期計画終了後となるが、その他の事業の効果がそれを補っており、結果的には目標指標を達成する見通しである。補足として、第1期策定時の2つの目標指標であるエリア内の「宿泊客数」・「公共施設の利用者数」については、補完指標として継続して数値を測定しており、平成28年度末の数値は過去最高を記録。要因としては、宿泊客数については、国際観光ホテルに認定されたホテルスーパー泊やホテルオーレの開業により外国人宿泊者が増えている点が挙げられる。また、公共施設の利用者数については、静岡県武道館の利用者数が前年度と比べて4万人増加したことが大きく寄与している。

◇第2期藤枝市中心市街地活性化基本計画主な事業進捗状況

81の事業のうち完了・着手済が78、未着手が3事業、進捗率は96.3%で計画全体で順調に推移している。主な事業の進捗状況については以下のとおり。

① 藤枝駅前一丁目8街区第一種市街地再開発事業

住宅棟、駐車場棟、高齢者施設棟、商業棟についてすでに着手されている。住宅棟は平成29年3月時点で17階建ての10階部分まで施工されているところで、すでに完売。平成28年度末時点での工事全体の進捗状況は約40%。

② 藤枝駅南口開発B街区複合施設整備事業（ホテルオーレ）

平成27年12月に静岡伊勢丹MIプラザ藤枝、平成28年3月にホテルオーレがグランドオープンし、飲食店、オフィス、ホテル・ブライダル施設が順次開業した。静岡空港を活用したインバウンド事業の取込みにも貢献しており、引き続き歩行者通行量や従業者数増加への寄与が期待されている。

③ 藤枝駅南アーバンクリエイティブ施設整備事業（ホテルオーレに隣接する商業施設）

平成28年4月に竣工、サッカーのまちを発信するコーナーや英会話スクールのテナント入居、女子サッカーチーム「アスレジーナ」の拠点としても機能している。

④ 駅前地区総合再生会議

駅の北側の各地区が同じ目標・コンセプトのもとで役割を担い、連携して統一したまちづくりを行っていくために組織した会議で、平成26年度に「藤枝駅前地区まちづくり憲章」を制定したほか、平成28年度には「防災協力マップ」を作成し安全・安心なまちづくりの実現を目指している。

⑤ 中心市街地タウンプロモーション事業（中心市街地エリアブランド展開事業）

駅南、駅前、青木の3つのエリアをロゴやキャッチフレーズにのせてPRして、藤枝駅周辺全体のイメージを良くしてもらい、ブランド化していくという目的の事業。市内の全小学生にクリアファイルを配布。駅周辺の魅力を発信する3種の冊子も作成した。駅周辺のブランド力・知名度を測るため県立大学教授に依頼しマーケティング調査も実施。

⑥ 中心市街地タウンプロモーション事業（て～しゃばストリート創造・発信オープンモール化事業）

平成28年度よりて～しゃばストリートイベントの毎月開催をスタート。love local MARKETについても昨年9月より毎月開催を実施。駅周辺の賑わいの定着化がみられる。

⑦ 街なかウェルカム&サポート事業

外国人観光客に対応する多言語ガイドブック、まち歩きのガイドアプリを作成。空港などから多く引き合いがあり非常に好評をいただいている。

⑧ 子育てにやさしいまちづくり推進事業

定住促進を目的として、子育てしやすいまちというプロモーションを行う事業。平成28年度は「ママシネマ」、「子育てママの自分磨き」を展開。まちのブランド力・経済効果を高めた。

◇平成29年度の主な事業

①大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる藤枝“活動・交流都心”創造計画
静岡産業大学駅前キャンパスを BiVi 藤枝内に開校する予定。駅周辺に教育環境を生み出すこと、産学官の連携拠点、藤枝市の ICT 化の拠点としても機能させることで賑わいづくりに貢献していくことを考えている。②次期中心市街地活性化基本計画策定

平成 30 年度以降の活性化計画の策定にかかっており、今年度中の内閣総理大臣による認定を目指している。そのために、今年度は中心市街地活性化協議会を複数回開催し、委員の意見をいただきたい。

③藤枝駅前一丁目 8 街区第一種市街地再開発事業

平成 30 年 1 月末の竣工に向け円滑に事業が進捗するよう市としても支援していく。

④新たな開発促進事業

新たな再開発事業やリノベーション事業、民間開発事業を推進するために勉強会などを実施し開発を促進していく。

⑤中心市街地タウンプロモーション事業

て～しゃばストリートの定着化を目指して毎月開催を継続。いつもなにかをやっている藤枝駅という印象付けを図っていきたい。イルミネーション事業についても、藤枝の冬の風物詩として定着しているところなので事業継続に向けて事業費確保などに向けた調整を行っていく。

⑥田沼街道踏切の改良

田沼街道踏切が「改良すべき踏切道」として国土交通省から指定を受けたことに伴い、今後、踏切および周辺の交通量調査、踏切改良方法の協議等を進め、JR との協定締結や改良工事着手を目指す。

② ⑦子育てにやさしいまちづくり推進事業

ママシネマを定番化させていく。

◇中活計画に記載されていない駅周辺の動き

<開発・商業施設>

4 つの民間の事業で効果が期待できる。

①アピタ藤枝店跡 平成 29 年秋オープン。キーテナントとしてははずてつストアを予定。

②BiVi 藤枝 静岡産業大学情報学部の駅前キャンパスとして平成 29 年秋頃開校予定。

③JR 東海静岡開発(株) 商業施設 2 階建(7 テナント程度)が平成 29 年秋オープンを目指す。

④ヨシコン(株) 地上 10 階建分譲マンション ほぼ建物は出来上がっている。6 月末竣工予定。

<駅周辺への出店状況>

平成 27 年度は 48 件の新規出店があり、うち空き店舗への出店は 20 件。平成 28 年度の出店は 42 件、うち空き店舗への出店は 25 件とたいへん多く、ホテルオーレの開業があった平成 27 年度に匹敵する件数。出店者にアンケートを実施したところ、出店理由としては「人口が増えている」「イメージが良い」「開発が進んでいる」といった声が多く、6 割を越える事業所が「出店時にイメージしていた経営が行えている」と回答している。また、出店者がターゲットとしている年代については「30 代～40 代のファミリー層」と若い世代をターゲットに定めているという結果になった。

説明終了後、山田会長より、質問・意見を求めた。

・ 駅南地区活性化連絡会議座長 仲田委員より

非常に順調に進んでいるという報告だが、課題・問題点の指摘がなかった。実際のフォローアップの中での課題・問題点はあると思うがどうか。

→増田課長が回答

成果指標のところ、まず歩行者通行量だが、全体的には上昇したのだが、駅の北側と南側を比べると駅北が減少している。駅南の増加が多く、全体的には多くなっている。駅北については8街区の再開発の効果に期待。駅南については平成29年度の秋のBiVi藤枝内静岡産業大学駅前キャンパス開校やJR藤枝駅南口のJR東海静岡開発による商業施設への出店により更に増加する見込みで、従業者数についても同じような形で増加する見込み。居住人口の増加については、青木のマンションによるところが大きく、駅南の一部では減少が見られたが、全体としては増えている状況。ただ、駅南にマンションが建設され、今後入居が始まるので増加が見込まれる。

→仲田委員が返答

駐車場について触れていない。駅南地区では県武道館で大きな大会があると駐車場が足りない。民間事業者は一生懸命駐車場の確保を行っているところ。地域の住民からの苦情も多く聞く。駐車場不足は大きな懸念。事業を行っていれば現実の問題は出てくるので、しっかり把握して対応すべき。都市建設を進める中で、駐車場問題や用途地域の見直し等、広い視野で見て課題を把握していくべきだと思う。

→増田課長より回答

駐車場の問題については承知している。現在、駅北側では駅前一丁目8街区の駐車場の整備をしている。平成23年11月に駐車場の調査を行ったところ、時間貸しについては約2,200台だった。今現在は2,000台を割っている状況。そんな中で、8街区の駐車場整備後の平成30年2月には2,217台確保の見込み。だが、それで解決というわけではない。駐車場の問題も含めたいろいろな課題を次回の会議で出して頂いて次期の計画の参考にしていきたい。

→仲田委員より返答

市営駐車場の改築がうまくできないかと個人的には思う。

→山田会長より

週末の駅前はずっと駐車場がいっぱい。仲田さんの意見を取り入れて次期計画を考えていてほしい。

以上をもって、原案通り承認された。

◆報告事項

(1) 次期計画策定に向けた方針(案)について

中心市街地活性化推進課石橋氏より説明。

◇次期中活計画策定に向けた方向性（案）

上位計画・施政方針と中心市街地の現況について、「上位計画」「社会潮流」、「人口」「交流人口」「商業」「都市機能・環境」「交通」という項目立てをし、各項目における現況と市民・商業者意向を資料の左側に記載。全体的な課題については、「高い求心力を持ち、持続可能で質の高い環境づくり」が求められていることであり、現況についてのそれぞれの課題についても抽出した。今後これらの課題に対して方向性を定め、目標、目標指標を設定していく。

◇次期中心市街地活性化基本計画策定に向けたスケジュール

今年度に、庁内調整、本協議会での審議、パブリックコメント、各関係省庁との協議を行いながら、次期計画の策定作業を進めていくスケジュールとしている。年明けの平成 30 年 1 月に認定申請をし、平成 30 年の 4 月から新計画の実施開始を予定している。

説明終了後、山田会長より、質問・意見を求めた。

・藤枝市商店街連合会会長 秋原委員より

方向性（案）の中に、「学生をターゲットとした賑わいづくり」とあるが、静岡産業大学の学生数はどれくらいを予定しているか。

また、第 2 期計画で未着手の 3 点の中に「藤枝駅南口周辺道路無電柱化促進事業」があるが、第 2 期の計画で行うか。

→増田課長より回答

産業大学の学生について、情報学部の今年の新入学生は 137 人、全体で 500 人以上が在学することになる。多くの学生が使用することが期待できる。具体的なことはまだ聞いていない。無電柱化については膨大な事業費がかかる。国が制度の見直し等を行っている中で、安価な金額でできる工法が示されると聞いているので、今後そういったものを見据えて取り組んでいく。平成 29 年度中には難しい。見通しが立てば次期計画で取り入れたい。

・秋原委員より

田沼の踏切の計画は確実に次期計画に入るのか？

→八木部長より回答

昨年、国が改良すべき踏切として指定された。これをもって JR も協議に応じなければいけないという義務付けがされたので、これから協議して計画には入れていきたい。無電柱化については、現在の施工基準での費用は膨大だが、基準の緩和ができてくれば実現可能になってくる。まだ時間がかかるようだが、実施に向けて取り組んでいきたい。

◆情報交換

・副市長 栗田委員

仲田さんから「大きく捉えて地域を見て欲しい」という指摘は正にその通り。特に用途地域の見直し、これらについては行政としてすでに意識を持ってやらなければならない。駅南は

当時住宅・農地の多い地域だった現状から用途地域を指定していくという都市計画の課題から今の現実を見ると非常に用途地域が課題である。これらのことには問題意識を持って引き続き出来る限り現状にあわせて誘導していきたい。

・都市建設部長 八木委員

藤枝市は人口については順調にきているが、将来的には減ってくるのが予想される。今まで通りの拡散したまちづくりでは色々な面でお金がかかったり生活で不便が生じる。国がまちをコンパクトにしていく施策として立地適正化計画を推進しているので、藤枝市もそれに乗って計画を策定中。その中で中心市街地は藤枝の中での大きな拠点となる。市民の皆様が使う都市施設の誘致も行っていきたいし皆様にもご協力いただきたい。

・商業観光局長 内記委員

今年度、商業観光局が設置された。商業・観光をこれから拡大していく中で、藤枝版の地域DMOの設置がこれからの課題。また、商店街活性化推進室ができた。商店街の活性化については全国的にも大きな課題。商店街の活性化を目指して、商業全体を盛り上げていきたい。インバウンドの取り込みも行っていく。

・藤枝市商店街連合会会長 秋原委員

先月市内の商店街の会合があり、駅前の人々の発言だったが、今年に入って駅前の人通りがさらに減った感じがするという話を聞いた。駅南もアピタがなくなり、昨年の中頃より減った感じはある。駅北はこのままいくと心配。これから大型店が入るのは難しいと思うので、空き店舗のリノベーション等で通常のにぎわいを生み出す施策が大事だと思う。

・藤枝駅前商店街(振)理事長 北島委員

意外に思うかもしれないが、駅前商店街には空き店舗は2店しかない。あとは居酒屋である。夜になると元気で明るくなる。商店が非常に厳しい現状。6街区がなかなか進まない中、商店街なのに、商店が100メートルに2店舗しかない状態。商店街は駅前にもあるので、行政や会議所は駅前商店街を巻き込んでもっと色々と仕掛けてほしい。商店街として頑張っていきたいので関係機関の協力を求める。

→田口委員より質問

ノジマやバロー出店の影響は？

→それらの店舗へ行き、目的買いだけで帰ってしまう。ノジマも、特に平日は、屋上駐車場が閑散としている。

・駅南地区活性化連絡会議座長 仲田委員

駅南地区活性化連絡会議では駅南地域の24事業所で毎月1回情報交換を行っている。地域の活性化、にぎわいを創出する方法を考えてみた。人を呼ぶ方法として何が一番いいかと考えたが、サッカーではないか。駅南地域にはMYFC、ルクレ藤枝、アスレジーナ、明誠高校、順心高校、サッカーチーム・高校が5つある。恵まれた状況をうまく活用していきたい。浦和には全国からサポーターたちが押し寄せてくる。J2に上がれば変わると思うので、藤枝MYFCには頑張ってもらいたい。うまく地域とクラブチーム、学校とが連携して欲しい。

い。ルクレとアスレジーナの「藤枝ダービー」も実現して欲しい。サッカーは人を呼べる力があると思う。藤枝・志太地域を活性化できるのでは。

・喜多町商店街会長 青地委員

喜多町は小さな商店街なので、昨年法人化をやめて任意の商店街になった。年に2回、まねきねこまつりを行っているが、商店街だけでは大変。今年は商店街だけでなく町内会の参加や子供会の協力についても考えている。今後は商店街と町内会が合体したような組織になったらいいと考えている。

・(株)まちづくり藤枝専務 栃本委員

まちづくり藤枝の役割は大きいと思っている。て～しゃばストリートを毎月行うようになった。にぎわいづくりは一過性のイベントでは難しく、月に1度でもなかなか難しい。しかし、やればやるだけ効果はある。南口の広場も整備されたので、通りだけではなく、駅南の広場を大いに活用していきたい。北側はJRの土地なのでお願いには行っているところだが、ぜひ、市や会議所をあげてJRの管理局へお願いに行くのも手かと考えている。北のイベント、にぎわいづくりも頑張っていきたい。

・藤枝駅前一丁目8街区市街地再開発組合理事長 鈴木委員

藤枝市をはじめ、国、県、近隣の皆様に協力をいただいて、8街区の再開発は順調に進んでいる。今年度中には完成予定。駐車場棟はほぼ完成。マンションも10階くらいまではできてきている。これから近隣商店街とどううまくやっていくか考えていきたい。最近、名古屋から越してくる家族と話をした。奥様はもともと島田の人だったが、転勤にともない戻ってくることになったが、島田市在住の母親から藤枝がいいと勧められたとのこと。藤枝はそれだけ魅力があるまちであると思われる。益々魅力ある街になっていくといい。

・ホテルオーレ事業部長 高井委員

オーレホテルは開業1年を向かえ、進捗率としては想定約2割増し。空港から外国人のお客様については、地域にお金を落としていただけの個人で利用のお客様が中心で、宿泊の方は順調。引き続き協力を求める。

・東海ガス(株) 鈴木委員

6年前に青木地区に本部を移転、中心市街地の北側に構えている。今回8街区の建設等でインフラ事業・補修事業でたいへん助かっている。お役所のように思われがちだが、ガスの自由化が始まった。先日8街区に防災用品を寄贈した。単純にガスの供給だけでなく、地域の活性化をサポートしていくことが事業の発展につながると思うので、今後開発計画の中で地域の発展に協力していきたい。

・藤枝警察署 石川氏

今後もイベント等でできる限り協力していきたい。

・静岡県商業まちづくり室 神谷氏

中心市街地活性化に関しては県として直接の支援策がないのだが、藤枝市には中心市街地のトップランナーとして今後も期待している。

・青島第6自治会長 柳川委員

青木地域住民代表。青木を見ていると、公共施設のようなものが多いが商店街がない。駅前通りは日中、人通りも車の通りもない。駅前商店街との差が激しく、青木は通りが暗い。

・青島第2自治会長 青島委員

田沼・前島地区は非常ににぎわいがある。今年は前島神社の大祭りがあるので盛り上がっている。駐車場や交通渋滞の問題については何らかの方法で解決していきたい。また、冬場になるとムクドリが大量にやってくる。鳴き声と糞の被害が甚大。無電柱化になれば変わるかもしれないので期待。中心市街地がさらに活性化するための努力を地域住民としてもしていきたい。

・しずてつジャストライン(株) 堀池氏

12月に渋谷ライナーが開業。想定以上の利用があり、好調に推移している。相良営業所から静岡空港、藤枝駅、岡部営業所を経由して渋谷へ行っているが藤枝駅南口の乗降がいちばん多い。路線バスについては、北口をメインに多くの路線でお世話になっている。今回8街区の駐車場棟の1階部分をバスの待機場所として利用させてもらっていてご協力に感謝している。藤枝市内では多くの路線で走行させていただいているので、今後ともご協力いただきたい。

・焼津信用金庫常務理事 梅島委員

地元の信金で志太地区を中心に営業している。この地区に元気になってもらいたいという思いから地域貢献部という部署もつくり、地元の事業者の支援を行っている。昨年では～しゃばストリートで志太マルシェを開催。大変好評だったが今年は折り合いがつかずできないので来年は開催したい。藤枝市内に9支店あり、それぞれ地元の商店街や地域のお祭り等で協力しているが、今後も地元が発展するよう地域のために協力していきたい。

・藤枝市観光協会事務局長 小林委員

4月1日より観光協会の事務局長に就任。桜まつり、藤まつりには多くの皆様にきてもらっている。驚くことに、マスコミの皆さんが毎日のように来ている。なんでこのように来ているのかと言ったら、SBSのプロデューサーの方が言っていたが「藤枝市の名前をつけると視聴率が取れる」と。藤枝市がどれだけ注目されているか、一つのブランドと化している。観光協会として、「藤枝」といったら「行きたい」「暮らしたい」「楽しみたい」というようなものをみんなで作っていきたい。

・静岡産業大学教授 田口委員

BiViの1階のDENZOのあったところがキャンパスとなる。入口の方にカフェが出来る予定。

具体的な中身は検討中。生徒と市民の皆様が利活用できるよう、若手の先生方がアイデアを出し合って業者の方たちと検討している。学生が出入りするようになると、駅南のにぎわい、BiViの活性化という点で非常に楽しみである。市がICT事業で全国に先駆けた推進事業を行っているので、タイアップした形で賑わいとICT、IoTを兼ね備えた拠点になるよう、進めていきたい。

・藤枝市社会福祉協議会会長 井田委員

毎回参加していて新しい市街地がどのように成長しているか楽しみにしている。犯罪が起ったり、いろいろな課題がある中で、顔の見える、安心安全な中心市街地にしてもらいたい。社会福祉協議会では、駅を中心に赤い羽根共同募金を行っているが、毎年北側より南側の方が多く集まる。

・藤枝商工会議所地域振興委員会副委員長 寺島委員

地域振興委員会では、今後、市と一緒に産業を活性化していくため、色々な情報交換を行って課題を共有し、提言等を行っていきたい。資料の中で、良いことがたくさん書いてあるが、現実では問題点もある。居酒屋は比較的繁盛しているように思われているが、平日はガラガラだったりする。イメージとのギャップがあるという声も聞く。会議を有意義にしていくために、課題等について、こういった会議の場では公にして共有することで次へのステップにもつながると思う。

・藤枝商工会議所専務理事 杉浦委員

時々、日本商工会議所の会議に出席している。先日の会議で、経産省の中心市街地活性化担当課長からの話を聞いたが、藤枝市が先進事例として必ず取り上げられ紹介してもらっている。次期計画を策定するという方向性なので非常に期待している。駅南駅北、にぎわいの創出ができています。さらなる経済波及効果を高める事業について、駅前商店街、駅南商店街、その他の商店街の皆さんとともに一緒に考えていきたい。

・藤枝商工会議所副会頭 大塚委員

中心市街地活性化ということで、中心地が栄え賑わいを創出し、そしてその輪を大きくし市全域でというのが目的だと思う。課題もあるという話もあったのでこれをクリアしながら知恵を出し合っていきたい。会議所としては「地域に選ばれ」、「お客様から喜ばれ」、「会員から頼りにされる」ことをテーマに活動している。役員、事務局一体となって進めていきたい。サッカーの話が出たが、サッカー協会役員をやっているので、役に立っていきたい。

以上